

第25回 東京芸術文化評議会

平成30年10月24日(水)

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2018

[サラダ音楽祭]

TokyoTokyo
FESTIVAL

コンセプト

Sing and Listen and Dance
誰もが「歌い・聴き・踊り」参加して楽しめる

【日程】9月17日(月・祝)

【場所】東京芸術劇場/池袋エリア

【主催】東京都、東京都交響楽団

TOKYO METROPOLITAN
SYMPHONY ORCHESTRA

あなたが出会う、あなたと出会う。
[サラダ音楽祭]

都響
日本交響 大団長

音楽を楽しく、人を笑顔にする。
「特別な音楽祭」

Sing and Listen and Dance!!
TOKYO MET SaLaD
MUSIC FESTIVAL 2018
トーキョー・メット・サラダ・ミュージック・フェスティバル 2018
[サラダ音楽祭] 2018年9月17日(月・祝)
会場:東京芸術劇場 / 池袋エリア(公園・商業施設)
主催:東京都 / 公益財団法人東京都交響楽団 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 池袋区
お問い合わせ:サラダ音楽祭事務局 電話 03-5446-2784 (9:00-18:00)
くわしくは公式サイトへ sala-musicfes.com f t 東京芸術劇場 TOSHIMA

チケットの購入はこちら <http://www.tokyo-met.jp> 電話 03-5446-4999 (9:00-17:00)
公演案内 <http://www.tokyo-met.jp>
お問い合わせ sala@tokyo-met.jp 電話 03-5446-2784 (9:00-18:00) 東京芸術劇場 <http://www.tokyo-met.jp>
東京都庁 <http://www.tokyo.lg.jp> 池袋区 <http://www.iikaga.lg.jp>
東京都交響楽団 <http://www.tokyo-syo.or.jp> 東京芸術劇場 <http://www.tokyo-geijutsu.or.jp>
東京都歴史文化財団 <http://www.tokyo-ichibu.or.jp> 池袋区 <http://www.iikaga.lg.jp>
東京都交響楽団 <http://www.tokyo-syo.or.jp> 東京芸術劇場 <http://www.tokyo-geijutsu.or.jp> 東京都歴史文化財団 <http://www.tokyo-ichibu.or.jp> 池袋区 <http://www.iikaga.lg.jp>

OK！オーケストラ

赤ちゃんOK！歌ってOK！踊ってOK！

指揮／大野和士 ダンス／コンドルズ 児童合唱／東京少年少女合唱隊 ほか



2歳以下の小さい子供は
保護者の膝上で鑑賞。
演奏中もあちらこちらから泣き声が。



その場で手を挙げた子供が、
堂々とオーケストラを
指揮しました。



合唱団には豊島区の小学生も
参加し、夏休みの間に一緒に
練習しました。

入場者数：1,943名（内263名は2歳以下の乳幼児）

メイン・コンサート プルミエ・ガラ

指揮／大野和士 振付・ダンス／近藤良平 ダンス／コンドルズ ほか



小池知事の指揮で始まった
コンサートでは、1964年東京大会
のオリンピック・マーチを演奏



コンサートの第二部では、大曲の
オルフ作曲『カルミナ・ブラーナ』
を演奏



歌とダンスのコラボレーション
により、圧巻のフィナーレと
なりました。

入場者数：1, 846名

SaLaD ミニコンサート

池袋駅周辺の街中で演奏



池袋駅の駅ビルでの演奏。
多くの買い物客などが
足を止めていました。



若者に人気の商業施設
「WACCA 池袋」で演奏



休日は多くの人で賑わう
池袋西口公園。
気持ちのいい屋外でのコンサート

全13公演 来場者数: 2, 320名

SaLaD ワークショップ



楽器体験
音を出してみよう！



ダンスのワークショップ
「コンドルズ」と踊ろう！



自分だけの手作り楽器
楽器を作ろう！

来場者数: 2, 165名

Tokyo Tokyo FESTIVAL企画公募 選定状況等について

1. 事業趣旨・概要

- 「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の中核となる目玉事業の創出（2019年秋頃から2020年9月までに実施）
- 斬新で独創的な企画や、多くの人々が参加できる企画を広く一般から公募し、人々の記憶に残る文化プログラムを構築するとともに、2020年以降の東京の芸術文化の発展に繋がる様々なレガシー創出を目指す。
- 各企画の事業費：数百万円～2億円を超えない範囲（自己資金や協賛金等他の収入を含めた拡大が可能）
- 採択した企画は、東京都及びアーツカウンシル東京の主催事業として、提案者側に制作を委託して実施
- 募集期間：2018年2月1日から28日まで
- 応募総数2,436件（うち、海外28の国・地域から114件）



2. 選定状況及び今後の予定

- 第一次審査（書類審査）及び第二次審査（プレゼンテーション審査）を経て、平成30年8月31日に**13件を選定** ※審査会委員は別紙のとおり
- 選定に当たっては、別添の3つの視点を重視
- 選定された企画については、今後、実施に向けて制作を進めていく（公表時期・方法については、プロモーション戦略と合わせて検討）

【審査会委員】 ※平成30年8月31日現在

(50音順、敬称略)

氏名	現職
青柳 正規	東京大学名誉教授、東京芸術文化評議会会長
伊藤 学司	(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会CFO 企画財務局長
太下 義之	三菱UFリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター長、 独立行政法人国立美術館理事、東京芸術文化評議会評議員
田口 亜希	日本郵船(株)広報グループ社会貢献推進チーム、日本パラリンピアンズ協会理事
中井 美穂	アナウンサー
長島 確	ドラマツルク、東京藝術大学音楽環境創造科特別招聘教授、 東京芸術祭2018プランニングチーム フェスティバル/トーキョー18ディレクター
伏谷 博之	タイムアウト東京代表 ORIGINAL Inc. 代表取締役
藤森 照信	建築家・建築史家、東京都江戸東京博物館館長、東京大学名誉教授
藤原 章夫	文化庁文化部長
堀越 弥栄子	東京都生活文化局魅力発信プロジェクト担当部長
三好 勝則	アーツカウンシル東京機構長
吉本 光宏 ※	(株)ニッセイ基礎研究所研究理事、東京芸術文化評議会評議員

※ 審査会委員長

○ Challenge the “Mirai”

革新性・独創性、2020年以降に向けた新しい挑戦

○ No Borders

障害者、高齢者、子供、外国人等国内外のあらゆる人々が参加・交流

○ Old meets New

伝統と現代の共存をはじめとした独自性・多様性

Tokyo Tokyo FESTIVAL について

表記の一本化

- 2020年に向けて現段階から、継続的な気運醸成に向けた取組を行う必要があることから、事業期間による区別を設けることなく、全ての東京文化プログラム事業を「Tokyo Tokyo FESTIVAL」として統一的に展開する。

Road to Tokyo Tokyo FESTIVAL
(下の期間までに実施する文化事業)

Tokyo Tokyo FESTIVAL
(大会期間を含む約半年間に実施する文化事業)

Tokyo Tokyo FESTIVAL

統一的な概念で継続的にPR展開



The logo for Tokyo Tokyo FESTIVAL features the words "Tokyo Tokyo" in a blue, rounded font with a red dot over the second "o". Below this, the word "FESTIVAL" is written in a smaller, blue, spaced-out font. A horizontal line separates the two parts of the logo.

対象事業の拡大

- これまでのTokyo Tokyo FESTIVALの範囲（※下記①②）に、新たに「都内区市町村が主催する文化事業で申請があったもの」を対象事業を加える。
- 対象事業については、Tokyo Tokyo FESTIVALのロゴの使用を可とするほか、PRグッズを提供することで、Tokyo Tokyo FESTIVALの認知強化に繋げる。また、対象事業は、Tokyo Tokyo FESTIVAL特設ホームページでも事業を紹介を行う。
- 事業実施後には、Tokyo Tokyo FESTIVALの実績としてカウントを行う。

※①東京都、東京都歴史文化財団、東京都交響楽団が主催する事業

②民間等に対する助成事業

【基本広報】

- ・ポスター
- ・バナー
- ・映像
- ・WEB構築・更新
- ・ノベルティ
- ・交通媒体掲出

+

【認知拡大・参加誘発】

多種多様なTokyo Tokyo FESTIVALの認知を国内外に拡大し、様々な形での参加を誘発できる仕掛け

- ①2018年度～2019年度節目でのショーアップ
- ②2020年最盛期の盛り上げプロモーション
- ③都内区市町村の文化事業との連携

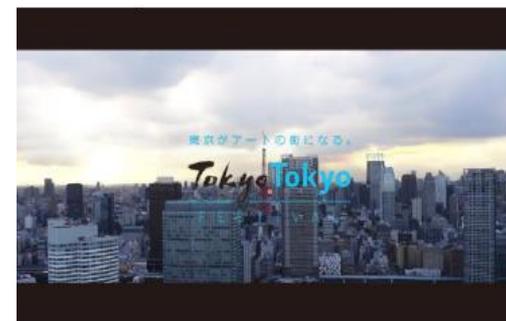
【ブランディング基盤強化】

TTFブランディングにおける基盤強化につながる取組

- ④インフルエンサーを活用したT T Fの発信
- ⑤海外のイベントとも連携し海外に向けた発信
- ⑥多様な国内イベントとの連携

基本広報

- ロゴだけではなく、**キャッチフレーズ**の発信
- 2020大会までの節目のタイミングに合わせて、**ポスターやバナーなど各種広報ツール**を重点的に展開
- ブランディングムービー**や**事業紹介動画**の作成・展開



認知拡大・参加誘発

- 著名人を活用したイベント開催**など、ショーアップされた取組
- 街の景観を活かしたパブリックアート**など特徴的なPRを展開
- メディアとのタイアップ**による、企画公募等の目玉事業の発信
- 都内区市町村の文化事業でのロゴ使用やグッズ・ポスター等の提供**など、オール東京での取組推進



ブランディング基盤強化

- 既存の文化事業などを対象に**インフルエンサー**を活用した情報発信
- 国内外のイベントの機会を捉え**ブース出展**や**メディアブリーフィング**の実施
- ラグビーW杯のタイミング**を捉え、**訪日外国人**へのアピールを強化



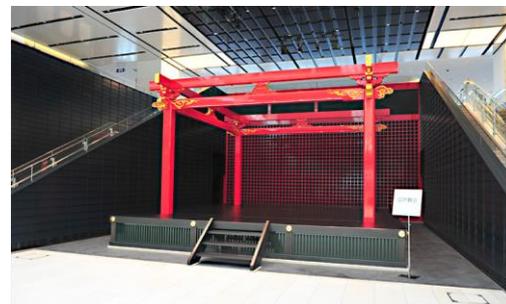
プロモーションイベント第1弾 概要案

【開催日】平成30年11月9日（金）
午前の1時間程度を想定

【場 所】羽田空港国際線旅客ターミナル
4階江戸舞台

【現在検討中の内容案】

- ・ Tokyo Tokyo FESTIVALの紹介
- ・ 今後の事業例の紹介
- ・ 特別ゲスト 市川海老蔵氏による「延年の舞」
- ・ トークセッション
小池知事、市川海老蔵氏、
東京芸術文化評議会 吉本光宏評議員
- ・ 東京都交響楽団による弦楽四重奏



10月26日（金） 知事定例会見にて公表予定

※会見での公表まで情報管理の徹底をお願いいたします。

第6期 東京芸術文化評議会部会専門委員について

文化政策部会

〔部会が果たす役割〕

○2020年以降も見据えた都の文化政策の方向性について議論

（主な検討事項）□

- ・ 都立文化施設等の運営
- ・ 文化事業の評価・検証を行う仕組み ほか□

（設置）平成30年3月 （開催）2回（第1回3月29日、第2回7月12日）

<専門委員>

氏名	現職等
太下 義之	三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター長
片山 泰輔	静岡文化芸術大学文化政策学部教授
河島 伸子	同志社大学経済学部教授
草加 叔也	(有) 空間創造研究所代表
久野 敦子	(公財) セゾン文化財団常務理事
日沼 禎子	女子美術大学教授
大和 滋	(公社) 日本芸能実演家団体協議会参与
吉本 光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所研究理事

文化プログラム推進部会

〔部会が果たす役割〕□

○東京文化プログラム全体を通じた目標や取組視点等を整理、各個別事業の位置づけ明確化

○「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の推進 ほか

（設置）平成30年3月

（開催）3回（第1回3月6日、第2回4月18日、第3回10月15日）

<専門委員>

氏名	現職等
伊藤 学司	公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 CFO 企画財務局長
田口 亜希	日本郵船 株式会社 広報グループ社会貢献推進チーム 日本パラリンピアンズ協会理事
中井 美穂	アナウンサー
伏谷 博之	タイムアウト東京代表 ORIGINAL Inc. 代表取締役
三好 勝則	アーツカウンシル東京機構長
吉本 光宏	株式会社 ニッセイ基礎研究所研究理事 東京芸術文化評議会評議員

50音順・敬称略

「パリ東京文化タンデム2018」事業のラインアップについて

◆東京で秋に開催されるイベント

ショーケース公演 『間 エチュード』 (MA étude)

2018年9月28日(金)-
30日(日)
東京芸術劇場



『間 エチュード』のイメージ

展覧会 『エキゾティック ×モダン アール・デコと 異境への眼差し』

2018年10月6日(土)-
2019年1月14日(月・祝)
東京都庭園美術館



写真:ポール・ボワレ《ロブ》 藤田
真理子、ポール・ジュリアン・アレキ
サンダー蔵

複合文化イベント 『Saison Rouge ～ Weekend in Paris-Tokyo』

2018年10月17日(水)-
21日(日)
渋谷・代官山など



ローザ・ボヌール

演劇公演 『ガラスの動物園』

2018年10月27日(土)-
28日(日)
東京芸術劇場



© Mammam Benranou

※ タンデムは、パリ市が2011年から行っている姉妹友好都市との文化交流事業であり、ロンドン、ニューヨーク、マドリードなどの都市とともに開催されており、2018年は東京都とパリ市がアンスティチュ・フランセとともに実施する。 15

「パリ東京文化タンデム2018」事業のラインアップについて

◆東京で秋に開催されるイベント（続き）

ライブ・アート・ パフォーマンス 『ダーク・サーカス』

2018年10月27日(土)-
29日(月)
東京芸術劇場



©JM_BESINVAL

現代工芸品展覧会 『Cr éation sous influence -響き合う創造-』

2018年11月11日(日)-
26日(月)
東京都美術館



© Baptiste Heller

大学生の 東京・パリの ポスターコンテスト

2018年11月中旬-
12月中旬(予定)
新宿駅西口(予定)



首都大学東京の菊池風藍さんのポスター（左）と
山口千晴さんのポスター

海外オーケストラ公演 『パリ管弦楽団』

2018年12月16日(日)
15:00開演
東京芸術劇場



パリ管弦楽団 ©William Beaucardet

「パリ東京文化タンデム2018」事業のラインアップについて

◆パリで秋に開催されるイベント（「ジャポニスム2018」特別企画）

展覧会 『アール・ブリュット ジャポネⅡ』

2018年9月8日(土)-
2019年3月10日(日)
アル・サン・ピエール美術館



福井誠『双頭ドロー・ウーゲ』（2018年）
写真：高石巧

写真展 『東京画 SHIBUYA - TOKYO CURIOSITY』

2018年10月19日(金)-
11月17日(土)
パリ4区庁舎



©Naoki Honjo

『Furoshiki Paris』

2018年11月1日(木)-
6日(火)
パリ市庁舎前広場



FUROSHIKI PARIS © Atelier Tsuyoshi Tane Architects
| Photo: Marc Verhille

からくり人形の動態展示

2018年11月2日(金)-
3日(土)
パリ日本文化会館



参考図版「文字書き人形」
（「夢からくり一座」所蔵）